

第4期地域福祉保健計画確定 (きらっとあさひプラン)



昨年度から毎月第2木曜日の夜に、地区社協理事の方々にお集まりいただき検討をしてまいりました、第4期旭区地域福祉保健計画（期間：令和3年度から令和7年度）「きらっとあさひプラン」の策定が、コロナウイルス感染拡大により計画の策定が延び延びになっていましたがやっと確定することができました。

地域福祉保健計画は、旭区で生活・活動している「すべての人」が健康でしあわせな生活を送れるまちを目差し、行政はもとより、地域で住みよいまちづくりに取り組まれている関係諸団体と協働し、地域住民が主体となって、共に力を合わせて取り組む計画です。

若葉台地区社協では、以下の4つの目標を設定して、自治会をはじめ関係諸団体と協力をしながら活動を推進してまいります。

- (1) お互いを気にかけてあう環境を作る
- (2) 地域のだれもが参加のできる機会がある
- (3) だれもが気軽に集まれる身近な場がある
- (4) 地域の取り組みを多くの人に伝える、だれもが地域へ情報を発信できる

詳細については、2～3頁をご覧ください。

※若葉台地区別計画は10月に全戸配布予定。

●第3期の振り返り

- 地区社協地域福祉保健部会を毎月1回開催し、「孤立防止」をテーマに地区別計画について話し合いを行った。
- お互いにあいさつをしやすい雰囲気をつくるため、あいさつ運動ののぼり旗を設置。
- 「だれでも来られる場所」「敷居のない場所」「風通しの良い場所」として移動サロン「ほっこり」を毎月1回わかばの広場で開催。
- 「若葉台高齢者等地域見守り活動報告会」を連合自治会・地区社協とで共催し、地域の取り組みを情報交換。

「ご近助ほっこり活動」推進

現在、国では「地域共生社会」の理念のもと、2025年に向けた新たな社会福祉の仕組みづくりを進めています。その背景には、複雑化・複合化した困りごと（課題）を抱える個人（世帯）が増えている現状があります。

地域共生社会の実現のためには、地域住民や地域の多様な主体が、住民が抱えている困りごとを『我が事』として捉え、課題解決に参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながる社会づくりが必要です。

現在、旭区には3つの見守り事業、①友愛活動、②災害時要援護者支援事業、③ひとり暮らし高齢者等地域で見守り推進事業があるが、「要援護高齢者等あんしん見守り事業」は令和2年度で終了、18区の中で高齢者数が1番多く、75歳以上の高齢者の割合を示す後期高齢化率が2位（令和3年3月現在）である旭区では、早急かつ具体的に変化に気づき合える、支え合える新たな仕組みが必要となっています。

困りごとがある方に早期に気づけるのは、身近な地域で暮らしている地域住民の皆さんです。しかし、支援につなげられる体制がなければ、気づいた人が自ら解決するか、気になりながらも、声を上げることができないままにせざるを得ません。そこで、旭区社会福祉協議会及び19地区社会福祉協議会が一丸となって、高齢者だけでなく、子育て世帯も含めて、地域社会からの孤立を防ぎ、様々な困り事を早期に発見し、問題解決につなげていくための、新しい包括的な見守りの活動「旭区ご近助ほっこり活動」に取り組みます。

「地域共生社会」とは
制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことを言います。

●私たちが描く地区の未来図

『困ったときに声をあげられる雰囲気のあるまちづくり』

地域には価値観、考え方の違う人など、いろいろな人がいる。そして、いろいろな関わり方がある。困ったときに声を上げ、それを受け止めることができる地域が、私たちが描く地区の未来図になります。

●目標と主な取組

目標A：お互いを気にかける環境を作る

○みんなであいさつ運動を継続し充実させる

- ・登山の時のようにいつでもだれとでも
- ・名前を知らなくても顔見知り
- ・生活の中で自然に、肩肘張らずに

○移動サロン「ほっこり」の継続実施

- ・だれでも自由に気軽に参加しやすい工夫
- ・わかばの広場で、様々な場所で、扉のないテントで
- ・なんでも気軽に相談できる場所を併設

○みんなでちょっとだけ迷惑をかけあえる、寛容な地域づくり

- ・「手伝って」「助けて」など言える付き合い
- ・「気になる」前の声かけ、「気にかける」運動
- ・日頃のちょっとした気づき、声かけから災害時の助け合いへ



あいさつ運動
(のぼり旗)



目標B：地域のだれもが参加のできる機会がある

○だれもが地域活動に参加しやすい環境づくり

- ・子育て世代、学生、こども、障がい児・者、高齢者、転入者、だれでも
- ・自治会活動、清掃活動、サークル活動、スタンプラリーなどのイベントを通して
- ・ジュニアボランティアの活動

○これまでの取り組みを大切に、時代や多様性を取り入れさらに充実させていく

- ・コロナ禍での就労や子育て環境の変化にも対応
- ・屋内から扉のない屋外へ、気軽に参加できる活動

○若い世代目線での地域活動づくり

- ・若い世代が集まれる場所
- ・若い世代が声をあげられる雰囲気

○企画段階からのプロジェクト参加

- ・組織間連携と情報交換・共有
- ・学校と地域の連携



ジュニアボランティア
(ベンチ清掃)



公園での活動
(プレイパーク)

目標C：だれもが気軽に集まれる身近な場がある

○移動サロン「ほっこり」を継続的に実施し、身近な場所で展開していく

○だれでも参加できるサロン開催の呼びかけ

- ・自治会、かがやきクラブ（老人クラブ）、子育てサロンなど既存のサロンと連携

○今までの活動を大切に、時代やニーズの変化に合わせて、既存の活動とつながりあう

- ・清掃活動や園芸活動、防災訓練などへの参加の呼びかけ
- ・こども連れでも、こども同士でも参加しやすい雰囲気づくり
- ・ひとりでも気軽に参加できる雰囲気づくり

○集会所やピロティを活用しだれもが利用できる居場所づくり

- ・世代に応じた居場所・たまり場
- ・多世代で参加できる交流の場

○サークルやボランティアグループの紹介

○緑豊かな若葉台の特色を活かしたオープンな居場所づくり

- ・プレイパークなど、環境を利用した居場所
- ・外出しやすく、仲間づくりをしやすい雰囲気



こども花壇



プレイパーク



移動サロン「ほっこり」
(丸太公園)

目標D：地域の取り組みを多くの人に伝える、だれもが地域へ情報を発信できる

○地域の取り組みを情報発信する

連合・単位自治会、地区社協、行政委嘱委員、かがやきクラブ（老人クラブ）、ボランティア団体、NPO、学校、まちづくりセンター、地区センター、地域ケアプラザ、その他多様な活動

○若い世代へのメッセージ発信、若い世代からのメッセージ発信

○ICT（情報通信技術）の活用

○地区社協だよりの充実

○支援を必要としている人、支援をしたい人への情報提供

●推進体制

若葉台地区社会福祉協議会

連合自治会、単位自治会、住宅管理組合協議会、NPO、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、かがやきクラブ、友愛活動員、青少年指導員、保護司、PTA、ボランティアグループ、学校、幼稚園、保育園

あいさつで みんなつながる 若葉台

《医療・健康講座》

「薬局の地域活動 その1」

(横浜調剤薬局店長 長曾部葉子)

前回までに、薬局を処方箋の受付だけでなく、普段から健康維持のための相談に利用してほしいと伝えてきました。しかし、処方箋の受付や薬の購入など、何か理由がないと薬局に入りにくいと感じるのではないのでしょうか？そこで、今回は気軽に参加できる健康フェアや、薬局外で行う活動を少し紹介したいと思います。今回は、薬局外で開催するお薬相談会についてです。



ここ最近、若葉台地区社協福祉協議会主催である移動サロン『ほっこり』内に薬局ブースを設けていただき、お薬相談会を開催しています。薬局では相談しにくいこと、例えば健康食品の購入、他病院から各々処方された薬の飲み合わせの可否、食事と医薬品の組み合わせについてなど様々な相談に対応しています。

最近では新型コロナウイルス感染予防や新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談件数が増えてきています。例えば病院でもらっている薬はワクチンに影響しないのか？ワクチン接種後の副反応で、発熱がでた時はどうしたら良いのか？などです。初めて接種するワクチンなので、よく分からない事が多く、不安になる方が多いのだと思います。

お薬相談会を『ほっこり』内で開催することもあり、皆さんリラックスしながら相談できる場所と感じているようで、薬局内での相談会とは少し違った雰囲気となっています。また、食事に関する相談も多いことから、管理栄養士さんも一緒に相談役として参加していただくこともあります。

次に、若葉台SC内にある、地域みまもり拠点『ひまわり』でのお薬相談カフェの開催を紹介します。ここでは、季節にあった健康情報や、マスクの着用時のアロマプレー作成・災害時の薬管理、

フレイル予防体操のほか、医療事務さんからの保険請求についての相談など、誰でも気軽に聞ける話題に設定してあります。お薬相談カフェに参加している方から何か質問があれば、皆さんで意見をだしあっていく、いわば全員参加型のイベントを目指しています。

勿論、どちらの参加も会費はありませんので、興味がありましたらお立ち寄りください。薬局には、常に血圧計を設置しております。毎日のウォーキングの合間に是非、ご自分の健康維持の為にご利用ください。お待ちしております。

《振り込め詐欺にご注意を！》

(2021年8月15日現在の被害総額)

旭区 19件、約1300万円

※若葉台は0件、継続しましょう。

※電話機は留守電モードに!



《今後の予定》

- 移動サロン「ほっこり」 於わかばの広場
毎月第1火曜日13～15時 (雨天中止)
直近は2021年9月7日開催予定
※お薬相談会・栄養相談併設(協力:横浜調剤薬局)、ケアプラザ出張相談会、住み替え相談会(協力:まちづくりセンター)併設。

ボランティア募集

横浜わかば学園の「カフェわかば」、地区社協の移動サロン「ほっこり」の、お手伝いをいただけるボランティアを募集しています。一月に一度、年に一度で結構です。空いている時間にご協力をお願いします。ご協力いただける方はお近くの地区社協理事、担当(080-3712-8457)、または編集後記に記載のメールアドレス迄、ご連絡をお待ちしています。

子育て支援スタンプラリー実施予定!

(若葉台の魅力発見プロジェクト)

対象:小学生~大学生

期間:10月1日~11月30日

【編集後記】

オリンピックも終わり、テレビをつけてもコロナの脅威しか放送していない毎日。でもこんな時だからこそ、いつもは見えないものが見えるのではないのでしょうか? 大切な人を思う心とか隣の人のやさしさ、お互いを気遣う声掛けなどを心がけて行きましょう。(奥)

《編集委員》阿部昭子、入江ゆきよ、太田正廣、奥村利夫、(五十音順)熊谷善友、東海林知子、瀬戸久美子、峰松雅子
※社協だよりへの掲載記事を募集しています。
ご希望の方はお近くの地区社協役員または下記メールアドレスまでお願いします。
Mail: wakabadai.chikushakyou@gmail.com